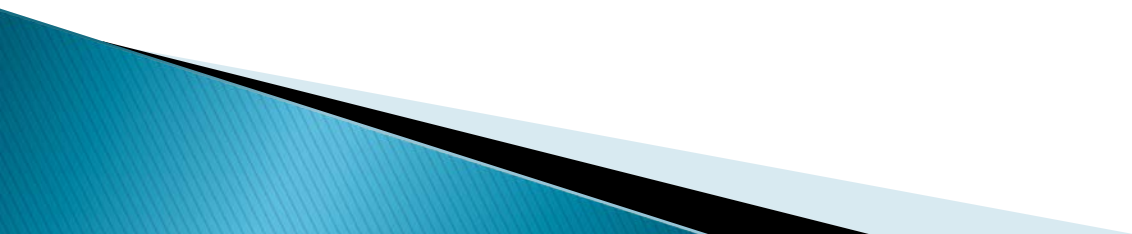


霧島市ふるさと創生総合戦略（第2期） の取組状況について



霧島市ふるさと創生総合戦略（第2期）の取組状況

基本目標Ⅰ 訪れたいまち

主な取組

Ⅰ－1 I・J・U “移住天国霧島”魅力倍増計画

- 新型コロナウイルス感染症の影響により移住体験研修を中止したが、コロナ禍に対応した形で地域の魅力を実際の移住者がリポーターとなり参加者に発信するオンライン移住ツアーを実施
- 本市に移住し、起業・就農した方の生活ぶりを紹介する移住ガイドブックを作製し、優れた生活環境を広くPR
- 霧島市の魅力を再認識し、愛着度を高めるための市民参加型の取組であり、「褒め合うまちへ」を合言葉に実施する「キシマイスター」事業の定着化

Ⅰ－2 “感動”を生み出す霧島流「五感再生ツーリズム」

- 市観光協会や関係団体と連携し、インターネットやメディア等で効果的な情報発信を実施
- 本市への宿泊を促すキャンペーンや修学旅行への助成事業を実施し、新型コロナウイルス感染拡大により落ち込んだ観光需要の喚起等を図るとともに、霧島市に宿泊し魅力を知ってもらうことで、認知度の向上を図るなど、今後の旅行先として選定されるよう取り組んだ。
 - カムバックtoいざ霧島！キャンペーン（R2.9/14～R3.9/30）
 - スクールトリップin霧島！40,000人キャンペーン（R2.7/1～R4.2/28）
 - フォロー＆霧ツイートキャンペーン（R3.8～R4.2）
 - プレミアム付宿泊施設利用券事業【プレミアム率150%】（R3.10/3～R4.3/21）
 - きりしま旅割クーポン（R4.12～R5.2の閑散期の支援策として実施予定）

霧島市ふるさと創生総合戦略（第2期）の取組状況

基本目標Ⅱ 住み続けたいまち

主な取組

Ⅱ－1 結婚・出産・子育て支援の充実

- 広報きりしまで子育て関連の施設紹介など、サポート情報等を発信
- コロナ禍で妊娠・出産を経た子育て世帯を支援するため3万円分の出産祝商品券を支給
- 国分ハイテク展望台を天候に関係なく遊べる児童遊園施設として機能させるため、屋内外遊具の設置や幼児利用を想定した建物の機能整備を行い、R3.7.16にこども館として開館
- 虐待予防等の観点から、多様化・複雑化する福祉ニーズや複合的な課題を抱える市民の相談に対応する「こども・暮らし相談センター」と関係機関の連携を推進
- 保育施設や放課後指導クラブ等の子育て関連施設の新型コロナウイルス感染症対策を支援

Ⅱ－2 子どもの夢と豊かな心を育む教育の推進

- G I G Aスクール構想に基づき、小1から中3までに配備した1人1台端末を活用したプログラミング教育等の推進や、教員のICT活用能力の向上などにより、児童生徒の個別最適な学びの充実を図った。
- 地元企業の説明会、地元企業代表者による講話など「中学生の挑戦！『霧島しごと維新』事業」、ALTや留学生と交流を深める「クリスマスグローバルアクティビティ」の実施
- 小中学校及び高校のマスクや消毒液、サーマルカメラ等の保健衛生用品等の購入や規模の大きい学校の消毒作業の民間委託等を行い、新型コロナウイルス感染症対策を徹底

霧島市ふるさと創生総合戦略（第2期）の取組状況

基本目標Ⅱ 住み続けたいまち

主な取組

Ⅱ－3 住民自治の推進による魅力ある地域社会の形成

- 「地域まちづくり計画」の見直し支援や地域活性化補助事業、地域振興補助事業の実施
- 安心して地域コミュニティ活動ができるよう地区自治公民館の感染症対策経費を支援
- プッシュ型かつ多言語で迅速・確実に災害情報等を伝達できるよう、災害対応アプリ「きりしま防災・行政ナビ」の運用を開始
- 「医師会医療センター施設整備基本計画」に基づき、新病院建設に向けた実施設計を行った。R6年度中に新病院を開院し、R9年度にグランドオープンを予定。
- 医療機関や高齢者・障害者支援施設等に新規で入院・入所する方のPCR検査費用を補助

Ⅱ－4 既存ストック活用による「小さな拠点」等の形成

- 民間主導・公民連携による「あるものを生かす」まちづくりへの転換を図るため、「霧島リノベーションまちづくり推進ガイドライン」に基づき、「キックオフシンポジウム」、「きりしま女子起業ラボ」、「エリアマネージャー育成コース」、「LIVE KIRISHIMA connect」、「全体報告会」を実施
- 空き家バンク制度、空き店舗等ストックバンク制度を展開し、利用希望者とのマッチングを支援し、利活用の促進を図っている。
- 低利用・未利用の公有財産の利活用を推進するため、「霧島市公有財産利活用ガイドライン」（R2.3）を策定

霧島市ふるさと創生総合戦略（第2期）の取組状況

基本目標Ⅱ 住み続けたいまち

主な取組

Ⅱ－5 公共交通の見直し等による生活利便性の向上及び地域間連携の推進

- 交通空白・不便地域の市民の交通移動手段の確保のため、コミュニティバス（ふれあいバス・デマンド交通）を運行するとともに、広域幹線系統の「JR・路線バス」と枝線の「コミュニティバス」の拠点結節により交通機関相互の連携を図っている。
- 隼人駅を拠点に小田、小浜、隼人塚団地や商業施設等を巡回する「はやと循環ワゴン」の実証運行を実施
- 環霧島会議と錦江湾奥会議を近隣市町等と持ち回りで開催し、課題解決に資する広域連携による取組を推進

Ⅱ－6 環境と調和したまちづくりの推進

- 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を更に促進するため、令和2年度から宅内配管に要する費用への補助を追加
- 環境美化モデル地区に延べ89の地区自治公民館を指定し、環境美化（河川環境保全）推進員を68名委嘱。河川景観保全アダプト制度に6団体が新規登録（計162団体）
- 麓第一地区の仮換地処分の公告（R4.2）を行い、隼人駅東、浜之市地区の仮換地指定、建物等移転補償、工事等を計画的に推進。
- 霧島市光ブロードバンド整備計画に基づき第3期エリア及び追加エリアの整備を行い、市内全域でサービス提供を開始（R3.11.20）。超高速ブロードバンド整備率：94.6%

霧島市ふるさと創生総合戦略（第2期）の取組状況

基本目標Ⅲ 働きたいまち

主な取組

Ⅲ－1 「強み」を活かした企業の誘致、中小零細企業の多様で活力のある成長・発展の実現

- 関係機関との連携による企業情報の収集、用地取得や設備投資に対する補助制度の実施やオンラインを活用した優遇制度のPRなど、本市の強みを生かした企業誘致活動を推進
- 商工会議所又は商工会会員である商工業者が借入れた制度資金の利子補給を実施
- 中小零細企業の販売促進・販路拡大等の取組に対し、広報経費の一部を補助
- 創業支援センターでの窓口相談に加え、鹿児島よろず支援拠点と連携して定期相談会を開催し、新たな事業に取り組む事業者や創業予定者に対する伴走型の支援を実施
- 商工会議所・商工会と連携して、創業セミナーの開催や企業支援事業（利子補給・広報費補助）を実施するなど、創業しやすい環境を整備
- 鹿児島県事業承継・引継ぎ支援センター、霧島商工会議所、霧島市商工会と連携し、事業承継に係る相談等に対応

Ⅲ－2 「強い」農林水産業の育成、「稼ぐ」農林水産業の創造（次ページにつづく）

- 関係機関との連携による新規就農相談への対応や各種補助事業・制度資金の導入による経営改善支援の実施
- 産学官連携で組織する「霧島ガストロノミー推進協議会」において、地域ブランドを認定する「ゲンセン霧島」認定制度を実施。令和3年度までに60の産品や活動が認定されている。

霧島市ふるさと創生総合戦略（第2期）の取組状況

基本目標Ⅲ 働きたいまち

主な取組

Ⅲ－２ 「強い」農林水産業の育成、「稼ぐ」農林水産業の創造（前ページのつづき）

- ANAとイトーヨーカドーが連携して実施する産直空輸実証事業を支援し、霧島ブランドの確立と農林水産物の販路拡大に向けた取組を推進
- R4.10月に牧園地区で開催される「第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会」に向けて、巡回指導などの出品牛対策に取り組むとともに、「霧島市おもてなし推進協議会」を設立するなど、大会開催に向けた機運の醸成や本市への経済効果を高めるための取組を推進

Ⅲ－３ 女性・若者・高齢者と市内企業を繋ぐ就職マッチング

- 「学生就職支援プロジェクト」の取組として、市内の誘致企業などの協力による市内外の高等学校5校を対象とした工場等見学会や第一工科大学を対象とした企業研究会を実施。
- 教育委員会・高校・大学・企業等と連携し、市内企業へのインターンシップを支援（参加に伴う経費を支援）するとともに、誘致企業のインターンシップの受入情報を教育機関へ提供
- 仕事と子育て・介護等の両立を図るため、関係機関と情報交換を行うなど連携に努めるとともに、今後、「企業実態調査」や「市民意識調査」の結果を分析し、取組を推進する。
- 企業の求人と求職者のマッチングを図るため、ハローワーク国分等と連携し、雇用確保・就労支援に取り組むとともに、就労意欲のある方への職業訓練や再就職支援に努めている。